

第86回経営協議会議事概要

日 時 平成28年12月16日（金）15時35分～16時54分
場 所 本部棟特別会議室
出席者 山崎（議長），向，山本，有松，樫見，青木，上村，川本，國澤，
野路，林，細田，矢部
欠席者 金子，中西
オブザーバー 村本，石原
陪席者 柴田，福森

1 前回議事確認

第85回経営協議会（10月20日開催）

2 協 議

（1）平成28年度金沢大学補正予算（第1号）編成

総括・改革・研究・財務担当理事から，資料1に基づき，平成28年度金沢大学補正予算（第1号）編成について説明があり，審議の結果，承認された。

（2）第3期中期計画の変更

企画評価・情報・社会貢献担当理事から，資料2に基づき，第3期中期計画の変更について説明があり，審議の結果，承認された。

（3）教員評価の給与への反映

総務・人事・施設担当理事から，資料3に基づき，教員評価の結果を給与に反映させる仕組みの創設に係る基本方針（案）について説明があり，審議の結果，承認された。

なお，次回本会議（平成29年2月）において，基本方針に基づく規程（案）を審議いただく旨，併せて説明があった。

[委員からの主な意見]

- 教育研究機関における評価の実施については，膨大な作業量に留意するとともに，教育研究を行う教員の特殊性を加味する必要がある。
- 最も重要なのは評価のやり方であり，企業では，特別な事項に基づいて評価することが一般的である。
- 評価を行う場合は，公平性，透明性が重要であり，しっかりと教員の理解を得ることが必要である。
- 心の病がある場合の対処法について，あらかじめ定めておく必要がある。
- 評価制度導入済みの他大学からも情報収集が必要である。
- 教員の意欲促進を図ることが評価の一番の目的であり，意欲喪失につながる制度設計が必要である。

3 報 告

(1) 平成27年度に係る業務の実績に関する評価結果

企画評価・情報・社会貢献担当理事から、資料4-1から4-4に基づき、平成27年度に係る業務の実績に関する評価結果について報告があった。

[委員からの主な意見]

- 成功している大学は、基金が充実している。基金の充実を図るためには、学長が率先して基金活動を行うことが重要である。
- 他大学を例に、関連企業等からの支援を募り、大学版「ふるさと納税」制度の導入について検討してはどうか。
- 附属病院の診療稼働について、診療科ごとの収入支出を公表して競争させてはどうか。
- 評価について、教育に対するウエイトが高く、研究に対する評価があまりないよう見受けられる。
- 大学の努力で評価を維持していても、不祥事一つで評価は下がる。不祥事発生時の法人としての初動・対応が重要である。

4 その他

(1) 平成29年度経営協議会開催日程

議長から、資料5に基づき、平成29年度経営協議会開催日程について説明があった。

<次回開催予定>

第87回経営協議会 日時：2月16日（木）13時30分から